

新年に寄せて ～支部長ご挨拶

北海道支部

森 操 HISホールディングス(株)



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。会員企業の皆様におかれましては日頃より支部活動への多大なご協力ありがとうございます。

去年は、新型コロナが5類移行して制限の無い社会が戻りつつあります。

原油など資源価格の物価上昇、先の見えないウクライナ危機、ガザへのイスラエル侵攻、中国の景気後退等マイナス要因も多い1年でしたが、新型コロナで多様な働き方がなされ制限が無くなっても継続されました。

今年は、通信環境などのインフラの整備、生成AIなど新技術の普及、業務のリモート化、情報リテラシーの向上、人手不足による

供給制約を生成AI等により緩和することへの期待等で益々システム開発が重要視されると思われます。

また、インバウンド需要の増加で内需拡大も続くと考えられます。

北海道支部の新年抱負としては、会員を増やす、支部会員の共創及び他支部JASAとの交流を目標に進めて行きたいと思います。

東北支部

水野 節郎 (株)イーアールアイ



新年明けましておめでとうございます。皆様にとって、素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

去年は大変お世話になりました。皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。昨年、コロナが明けて、かなりのリアルな会合や展示会が実施されて支部会議並

びに交流会、技術セミナーなどリアルの良さ・ありがたさを実感した年であったと思います。

外部環境としては特に半導体産業は国&民間ともに今までにない大型投資が始まっています。また、AIやDX化、デジタル化、自動運転等々、あらゆる産業においても大きな変革の時代を感じます。

今後は益々、社会の変化の要求に対応すべく活動をJASA会員が共創して新たな技術と新たなサービスで対応していくことと、

お客様に寄り添う付加価値の高い、対応力が業界の繁栄と参画する企業の成長につながると確信します。

東北支部としての抱負としては、さらに積極的に支部活動を進め、かわらず『JASAビジョン2030』や『JASA三か年計画』に基づき、JASA活動の価値をプレゼンし、新規会員の加入を目指して、地域JASA会員・他支部と共に歩んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

関東支部

ファンマヌエル エステベス ビジネスキューブ・アンド・パートナーズ(株)



新年あけましておめでとうございます。

本年も関東支部の活動へのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2020年から続いたコロナによる極めて大きな禍を乗り越え、平時へと舵を切るため日本銀行も金融引締めを本格的に探り始めるなど、課題を抱えながらも日本国内の

経済は勢いを取り戻しつつあるようです。

一方で海外に目を向けると、昨年末には更なる地政学的な衝突が発生してしまいました。この悲劇の根っこは2000年も遡ることもでき問題解決の難しさを痛感します。

年頭より少し重いトピックとなりましたが、こんな時だからこそ様々なレベルでの協力が求められるのだと強く感じております。例えば日本国内における人材不足が深刻です。これは中期にわたっての構造的な要因

であり企業単体での解決は容易ではありません。業務提携や資本提携などのパートナー企業をお探しの方々も多いのではないのでしょうか。

是非そんな時こそ我々JASAの会員ネットワークをご活用いただき、皆様の問題解決の一助としていただければ幸いです。

末筆ながら改めて本年も昨年以上のご支援をJASAならびに関東支部に対して賜りますようお願い申し上げます。

中部支部

伊藤 秀和 東海ソフト(株)



新年、明けましておめでとうございます。また日頃より中部支部の活動に対し格別なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて昨年度はコロナ禍で停滞したリアルでの会員交流の復活に注力した一年でも

ありました。まだまだ以前の水準には戻ってはいないものの、会員の皆様のご協力により徐々に活性化してきたと感じております。今年度はこれを更に加速させるとともに、支部間交流やJASAの活動のアピールに注力していきたいと思っております。

また、より大規模化、複雑化する組み込みシステム開発においてコスト・品質・工期に

対する取り組みは喫緊の課題となっております。これらの課題に対し生成AIの活用等各種セミナーを通じてヒントの場を提供していきたいと企画して参ります。そしてこの様な活動の中、企業間連携や産官学の交流促進に繋ぐことができれば幸いです。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

北陸支部

小林 靖英 (株)アフレル



新年にあたりご挨拶申し上げます。

データが大きな意味を持つ時代となり、まさにデータ収集に威力を発揮するIoT

はAI対応のための技術であり、新たな価値の創出へとつながる基盤となっています。

また、機械はエレクトロニクスとソフトウェ

ア、IoT/AIにより、あらゆる自動化、ロボット化が進み、ソーシャル・ロボットの進展と併せて「数年後には人より多くのロボット」が我々と共に暮らし、働く社会となることでしょう。

こうした変革、進化、成長の中で、新たなビジネス創出・技術革新に向けて提案するエンジニア、そして将来の社会経営を担えるエンジニアの育成を目指して、会員企業のみ

なさんとともに、産学官での活動を活発化したいと考えています。イノベーションチャレンジやETロボコンへの参加者、協力者の拡大、また教育機関、研究機関、地域業界団体、行政機関等との連携による技術創発や地域における交流の場づくりを進めていきたいと思っております。ぜひ、一緒に。本年も、よろしくお願いいたします。

近畿支部

塩路 直大 (株)Bee



新年あけましておめでとうございます。2024年、漸くススキリとした新年を迎えることができたと感じております。

皆さんは、2,3年前に流行り言葉のようになっていた、新しい社会スタイルを表す言葉を覚えていますか？カタカナ英語のホニャラってやつです。あっ！何だったっけ？という感じで、殆どの方が忘れてしまっているの

はないでしょうか。答えは文末に登場させておきます。

・支部として新年の抱負

近畿支部では一貫して会員同士のコミュニケーション促進を第一に活動しています。パンデミックにより失われた4年から逆に得られた教訓を生かし、ローカルな支部ならではの価値を意識した活動をしていきます。企業間交流やワークショップ、セミナーの他、本年は地域と他団体との交流も積極的に進めていきたいと考えています。

・支部の活動目標

近畿支部では本部事業展開、人材育成、全国展開、会員増強、団結力強化という5つの重点課題を設定し、会員企業にとって「使えるJASA」を目標としております。もう来年、2025年には大阪・関西万博も控えております。地域他団体や関係機関との連携を進め、会員企業から評価される”ニューノーマル”な近JASAとします。

九州支部

柳井 智雄 柳井電機工業(株)



新年あけましておめでとうございます。昨年より新しく支部長を拝命いたしました柳井と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

申し上げます。

さて、昨年も九州最大の展示会である「モノづくりフェア」へJASAブースの出展を行いました。3日間にわたる展示会の来場者は約

2万4千人と、昨年を2割も超える来場者となる盛況ぶりです。出展各社からはビジネスにつながる手ごたえがあったとの声を聞いております。また、ビジネス交流委員会主催の「九州地域交流セミナー」も九州経済産業局ならびに福岡県庁など行政の後援をいただき開催し、地域のビジネス交流にも貢献することができました。ご協力を賜りました皆様に感謝申し上げます。本活動は、実際のビジネスに直接的に貢献できることから

本年も出展したいと考えております。

本年より九州支部では、会員が2社増え6社にての運営となります。現在九州では、熊本にTSMCなど半導体企業が続々と進出してきておりビジネスチャンスが広がっております。今後とも幅広くJASAに所属するメリットを広報し、更なる会員拡大により充実した活動ができる支部にしたいと考えております。本年も皆様のご指導ご鞭撻を宜しく申し上げます。